

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日： 年 月 日

事業所名：パンダキッズ中央

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)(3点満点)	保護者の評価(3点満点)	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	2.6点(回答数7)	2.8点(回答数18)	活動に合わせて棚を移動させたり机をかたづけするなどしてスペースを確保します。
	2 職員の適切な配置	3点(回答数7)	3点(回答数17)	今後も継続できるようにします。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	2.3点(回答数7)	2.9点(回答数16)	今後も継続できるようにします。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保		3点(回答数20)	今後も継続できるようにします。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	2.6点(回答数7)		会議を増やし職員間で、共通理解できるようにします。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	2.3点(回答数7)		検討します。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	2.6点(回答数7)		事業所内での研修や外部での研修に積極的に参加できるようにします。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	2.7点(回答数7)	2.9点(回答数35)	子どもの保護者や職員間で密なコミュニケーションをとり計画に活かします。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	2.7点(回答数7)		子どもの保護者や職員間で密なコミュニケーションをとり計画に活かします。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)(3点満点)	保護者の評価(3点満点)	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供 （続き）	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	2.1(回答数7)	2.7点(回答数17)	職員間でのケース会議の機会を増やし共通理解のもと、支援を実施していきます。
	4 チーム全体での活動プログラムの立案	2.7点(回答数7)	2.9点(回答数13)	子どもの日々の様子を職員間で話し合える関係作りをします。
	5 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	2.3点(回答数7)		子どもの様子を注意深く観察し些細な変化でも気づき、柔軟に対応できるようにします。
	6 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	2.9点(回答数7)		計画を立てる職員を複数にすることで様々な活動、支援ができるようにします。
	7 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	2.3(回答数7)		出勤時間が違い一斉にはできないが、連絡簿などを活用して伝達する工夫をします。
	8 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	2.1点(回答数7)	出勤時間が違い一斉にはできないが、連絡簿などを活用して伝達する工夫をします。	
	9 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	2.9点(回答数7)	質の良い細やかな記録を継続できるよう、記入時間を確保します。	
	10 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	2.4点(回答数7)	継続して行います。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)(3点満点)	保護者の評価(3点満点)	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	2.1点(回答数7)		ケース会議を定期的に行い、事業所内外での研修に参加することで職員の知識と技術向上に努めます。
	2 <b>(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)</b> 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当なし		
	3 <b>(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)</b> 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当なし		
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有			
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、			
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	2.1点(回答数7)		今後、さらに積極的に取り組みます。
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	2.0点(回答数7)	2.2点7	交流の機会が持てるように努めます。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	2.0点(回答数7)	2.2点(回答数7)	今後、さらに積極的に取り組みます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)(3点満点)	保護者の評価(3点満点)	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	2.4点(回答数7)	3.0点(回答数20)	継続して行います。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明		2.9点(回答数20)	面談の機会などに丁寧に説明できるようにします。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	2.1(回答数7)	2.8点(回答数20)	今後、さらに積極的に取り組みます。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	2.9(回答数7)	2.8点(回答数19)	日々の送迎時に加えて、面談を定期的に行い今日の活動ができるように努めます。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	3.0点(回答数7)	2.7点(回答数18)	普段から、話しやすい雰囲気と関係作りに取り組み、信頼していただけるよう丁寧な支援を行います。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	2.1点(回答数7)	1.6点(回答数13)	検討します。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	2.9点(回答数7)	2.9点(回答数14)	事実を伝え、迅速かつ誠実に対応していきます。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	2.9点(回答数7)	2.9点(回答数20)	それぞれに合った方法を考え、わかりやすく伝えられるようにします。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	3.0点(回答数7)	3.0点(回答数18)	継続して行います。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	3.0点(回答数7)	3.0点(回答数18)	継続して行います。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)(3点満点)	保護者の評価(3点満点)	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	2.6点(回答数7)	2.7点(回答数7)	周知できるよう情報を発信していきます。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	2.3点(回答数7)	2.5点(回答数4)	企画し実施します。また、訓練が行われたことを知らせていきます。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	2.7点(回答数7)		今後、さらに積極的に取り組みます。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	該当なし		
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	該当なし		
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	2.9点(回答数7)		